

第1学年 国語科学習指導案

児童 男4名 女9名 計13名
指導者 熊澤美幸

1 単元名 こえに だして よもう「くじらぐも」(光村図書 一年下)

2 単元について

第1,2学年の学習指導要領「C読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気づきながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。本単元は、「C読むこと」の内容「ウ 場面の様子などについて、想像を広げながら読むこと。」「エ 語や文としてのまとまりや内容、響きなどについて考えながら声に出して読むこと」を指導するのに適した単元である。「くじらぐも」は、空に忽然と現れたくじらぐもに乗って、子どもたちが空の旅を楽しむ物語である。現実と空想が入り交じり、一体となって児童の夢がかなえられるおもしろさ・楽しさが主題である。児童は、子どもたちが自然に抱く、雲に乗ってみたい、素敵なおとこへ飛んでいってみたいという願いがそのままストーリー化されているので、教材に登場してくる子どもたちと同化し親近感を抱き、自分たちと重ね合わせながら興味を持って物語を読み進めるのに適した教材であると思われる。

児童は、これまで「はなのみち」で、挿絵や文章を見ながら場面の様子について想像を広げながら読むこと、「おむすびころりん」では、登場人物の行動から気持ちを想像し音読する学習を行ってきた。その結果、挿絵や文章を手がかりに登場人物の気持ちを想像し、吹き出しに書いたり登場人物の気持ちを考えた音読をするようになってきた。しかし、平仮名の習得が不十分な子も数名おり、支援を必要としている。「一人学び」については、挿絵や文章を手がかりに登場人物の気持ちを想像し、吹き出しに書いたりサイドラインや視写をしたりする活動を行ってきた。吹き出しに気持ちを想像して短い言葉で書き表すことはできるようになってきているが、生活経験や語彙の少なさから豊かに表現するには至っていない。「学び合い」について、吹き出しに書いたことを交流したり、重要な語句や文から考えたことなどを発表したりする中で、理解を深める活動を行ってきた。これらの活動から、自分の考えを発表したり友だちの考えを一生懸命聞こうとしたりするようになってきた。音読活動については、1 単位時間の中に音読する場面を設けたり、家庭での音読に取り組んだり、声に出して読むことを大切に扱ってきている。今後は、場面に合った読み方で音読するよう指導していきたい。

指導にあたっては、くじらぐもや子どもたちの行動、会話をしっかりと押さえ、互いの結びつきや心の交流をとらえること、単元名「こえにだしてよもう」をふまえ、音読活動を設定し、会話文の読み方の工夫や役割読みを取り入れて指導していきたい。「見通す」段階では、話のおもしろかったところや好きなところを絵と文で表し、それがどの場面かを結びつけることで話のあらすじをつかませるようにしたい。「深める」段階では、くじらぐもと子どもたちの交流の様子を文章や挿絵を手がかりに読み進めていきたい。「一人学び」については、子どもたちの気持ちを吹き出しに書く活動を行い、教材に出てくる子どもたちの気持ちを考えさせていきたい。また、「学び合い」では、吹き出しに書いたことを交流することで、自分の考えに自信を持ち発表することができる子どもを育てたい。さらに、友だちの考えの良さに気づいたり、認め合ったりできるようにさせながら読みを深めていきたい。「確かめる」段階では、学習したことを生かし、グループごとにペープサートを使いながら工夫して音読をさせていきたい。「広げる」段階では、自分が見つけた雲との会話を考え、まとめとしたい。

本時の学習では、くじらぐもに乗って旅をする子どもたちの気持ちを、文章や挿絵から想像を広げながら考え、それを交流することで楽しく旅する子どもたちの気持ちを読み取らせたい。「とらえる」段階では、前時の会話文を音読させることで振り返り、学習課題へと結び付けていきたい。「ふかめる」段階では、くじらぐもの様子を見つけサイドラインを引いたり、空を旅する子どもたちの会話を吹き出しに書いたりすることを「一人学び」として行い、「学び合い」では、吹き出しに書いたことを交流することで想像を広げ、子どもたちの空の旅を満喫する気持ちをつかませたい。「まとめる」段階では、学習したことを生かし、場面の様子に合った音読ができるよう、音読の工夫をするところにサイドラインを引かせ、意識させながら音読させていきたい。

3 単元の目標

登場人物の様子などを想像したり，声に出して読んだりして，物語を楽しむ。（読ウ）

語や文としてのまとまりや内容，呼びかける声の大きさなどを考えて，声に出して読む。（読工）

単元の評価目標

国語への関心・意欲・態度	読むこと	言語事項
<ul style="list-style-type: none"> 場面の様子を想像しながら進んで読もうとしている。（ア） 	<ul style="list-style-type: none"> 場面の様子や登場人物の気持ちを想像を広げながら読むことができる。（ウ） 語や文としてのまとまりや内容，呼びかける声の大きさなどを考えて，声に出して読むことができる。（工） 	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢，口形などに注意し，はっきりとした発音で話すことができる。（ア） 新出漢字の使い方や言葉の使い方を理解することができる。（イ）

4 指導計画（10時間）

過程	学習内容	主な学習活動	学習活動における評価規準
見通す (2)	全文を読み，学習の見通しをもつ。	全文を読み，感想を発表する。	<p>読 - ア 話のおもしろかったところや好きなところを見つけ，感想をもつことができる。</p> <p>A 話のおもしろかったところや好きなところを理由をつけながら絵や文で表現することができる。</p> <p>B 話のおもしろかったところや好きなところを絵や文で表現することができる。</p>
		<p>場面分けをし，あらすじをつかむ。</p> <p>子どもたちがくじらぐもに飛び乗ることになるまでの様子を読み取る。</p> <p>くじらぐもに飛び乗ろうとする子どもたちとそれを応援するくじらぐもの様子を読み取る。</p> <p>くじらぐもに飛び乗ろうとする子どもたちとそれを応援するくじらぐもの様子を読み取る。</p>	<p>読 - ア 話のあらすじをつかむことができる。</p> <p>A 話のあらすじをつかみ，自分の感想がどの場面のものか考えることができる。</p> <p>B 話のあらすじをつかむことができる。</p> <p>読 - ウ くじらぐもに飛び乗ろうと決めるまでの様子を読み取ることができる。</p> <p>A くじらぐもに飛び乗ろうと決めたときの子どもたちの張り切る思いを想像することができる。</p> <p>B くじらぐもに飛び乗ろうと決めたときの子どもたちの気持ちを想像することができる。</p> <p>読 - ウ くじらぐもに飛び乗ろうとする子どもたちの様子とそれを応援するくじらぐもの様子を読み取ることができる。</p> <p>A 子どもたちのくじらぐもに飛び乗ろうとする気持ちの高まりとくじらぐもの励ましを読み取るすることができる。</p> <p>B 子どもたちのくじらぐもに飛び乗ろうとする気持ちの高まりを読み取るすることができる。</p> <p>読 - ウ くじらぐもに飛び乗ろうとする子どもたちの様子とそれを応援するくじらぐもの様子を読み取ることができる。</p> <p>A 子どもたちのくじらぐもに飛び乗ろうとする気持ちの高まりとくじらぐもの励ましを読み取ることができる。</p> <p>B 子どもたちのくじらぐもに飛び乗ろうとする気持ちを読み取るすることができる。</p>

		くじらぐもに乗って空の旅をする子どもたちの様子を読み取る。 (本時)	読 - ウ くじらぐもに乗って空の旅をする子どもたちの様子を読み取ることができる。 A くじらぐもに乗って空の旅をみんなで楽しむ子どもたちの気持ちを想像することができる。 B くじらぐもに乗って空の旅をする様子を想像することができる。
		くじらぐもと別れることになった子どもたちの様子を読み取る。	読 - ウ くじらぐもと別れるまでの様子を読み取ることができる。 A くじらぐもと別れることになった子どもたちの満足した気持ちと、くじらぐもの気持ちを想像することができる。 B くじらぐもと別れることになった子どもたちの気持ちを想像することができる。
確 か め る (2)	あらすじを確認し、グループごとに劇遊びをする。	おもしろかったところや好きなところを音読する。	読 - エ 物語のおもしろかったところや好きなところを語や文のまとまりに気をつけて音読することができる。 A 読み取ったことをもとに、場面の様子にあった音読の工夫ができるとともに、友だちの発表の良さに気づくことができる。 B 読み取ったことをもとに、場面の様子にあった音読の工夫ができる。
		グループ毎に劇遊びをする。	読 - エ グループ毎にペープサートを使い、「くじらぐも」の物語を音読することができる。 A 人物のせりふを自由に考え、場面の様子にあった音読の工夫をすることができる。 B 場面の様子を考えながら、声の大きさに気をつけて音読することができる。
広 げ る (1)	雲の形から発想を広げ、雲と話したいことを考えて表現する。また、新出漢字の練習をする。	自分が見つけた雲とお話したいことを書く。 新出漢字の練習をする。	読 - ウ 自分が見つけた雲とお話したいことを考えて吹き出しに書くことができる。 A 想像したことを会話がつながるように吹き出しに書くことができる。 B 想像したことを吹き出しに書くことができる。

5 本時の指導

(1) 本時の目標

くじらぐもに乗った子どもたちとくじらぐもとの楽しい旅の様子を想像し、気持ちを読み取ることができる。

(2) 展開

過程	学習活動 主発問	学習活動に対する支援等 具体的評価規準
とらえる (5)	1 前時の学習を想起する。 2 学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">くじらぐもにのったみんなは、どんなことを話していたでしょう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> 前時の「天まで とどけ，一，二，三。」を音読し，そのときのみんなの気持ちを想起させる。
ふかめる (30)	3 学習場面を音読する。 学習場面(P10L1～P11L4)を音読する。 <ul style="list-style-type: none"> 一斉読み 指名読み 4 課題解決をする。 子どもたちを乗せて空を泳ぐくじらぐもの様子を読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> くじらぐもが，どんな様子を泳いでいるか分かるところにサイドラインを引く。 くじらぐもが，どこを泳いだかを読み取る。 空を旅する子どもたちの様子や気持ちを想像し，吹き出しに書く。(一人学び)	<ul style="list-style-type: none"> 内容が分かるように，語や文のまとまりに気をつけさせて，はっきりと音読させる。 みんなの様子に気をつけさせて音読を聞かせる。 「さあ，およぐぞ。」「げんき いっぱい」から，くじらぐもが張り切っている様子を読み取るようにする。 子どもたちを乗せ，空を自由に泳いだことを読み取るようにする。 くじらぐもに乗ってどんなことを思っているか考え，吹き出しに書かせる。早く終わった子は，他の子どもについても考えさせる。 机間指導をし，考えを把握する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>具体的評価規準</p> <p>くじらぐもに乗って空を旅しているときの子どもたちの様子を想像することができる。</p> <p>A 空を旅する子どもたちの様子を想像し，複数の吹き出しを書くことができる。</p> <p>B 空を旅する子どもたちの様子を想像し，吹き出しに書くことができる。</p> <p>C(手立て)</p> <p>挿絵の中から子どもを選び，その子どもの様子を考えさせるようにする。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 吹き出しに書いたことを発表し合い，いろいろなところを旅する楽しさやうれしさを読み取らせるようにする。 くじらぐもの様子から，雲の感触や風などについても触れていきたい。

	<p>みんなは、歌を歌ったとき、どんな気持ちだったのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「みんな、うたを うたいました。」から、くじらぐもに乗っている子どもたちがみんなが、空の旅を十分楽しんでいることを読み取らせるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>具体的評価規準</p> <p>くじらぐもに乗って空の旅をする子どもたちの気持ちを読み取ることができる。</p> <p>A くじらぐもに乗って空の旅をみんなで楽しみ喜ぶ子どもたちの気持ちを考えることができる。</p> <p>B くじらぐもに乗って空の旅をする子どもたちの楽しむ気持ちを考えることができる。</p> <p>C(手立て)</p> <p>挿絵の子どもの様子や吹き出しから楽しむ気持ちをとらえさせるようにする。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 「空は、どこでも どこまでも つづいています。」から、空だけではなく、楽しさや旅も続いていることもつかませる。
<p>まとめ (10)</p>	<p>5 学習のまとめをする。 学習場面を音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習したことをもとに、工夫しながら音読する。 指名読み <p>6 次時の学習を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 場面の様子が表れるように、工夫して読もうとするところにサイドラインを引かせ、意識して音読させるようにする。 くじらぐもと別れる場面を学習することを知らせる。

(3) 評価

くじらぐもに乗った子どもたちの旅の様子を読み取り、子どもたちの気持ちを想像することができたか。

(4) 板書計画

くじらぐも

くじらぐも はりきっている

「さあ、およぐぞ。」

くじらぐも

うみがみえるぞ。

空はきもちが いいなあ。

いえが小さく見えるぞ。

くもって ふわふわしている。

みんなは、うたを うたいました。

おとこのこもおんなのこも せんせいも

くじらぐもと子どもたちの挿絵

くじらの絵

かくじらぐもにのつたみんなは、どんなきもちだったでしょう。

ながわ りえこ

どこにまでも どこにまでも

まちの挿絵

たのしい うれしい うきうき わくわく

うみのほうへ
ふね、なみ
むらのほうへ
たんぼ、やま
まちのほうへ
ビル、でんしゃ